



第 20 号
発行所
近畿大学農学部緑友会
広報・編集委員会
編集委員長 奥村 博司
631-8505 奈良市中町3327-204
TEL : 0742 (43) 1 5 1 1
http://www.nara.kindai.ac.jp/



農学部 の近況

事務部長代理 佐野 真紀恵



農学部緑友会会員の皆さまには、日ごろのご活躍とますますのご発展をお喜び申し上げます。

また、平素は近畿大学農学部の発展に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

ニユース・新聞記事等でご承知いただいておりますが、昨年も、志願者数全国一位という快挙を成し遂げた近畿大学であり、当然、農学部においても多くの志願者を得、その狭き門を勝ち抜いた新入生721名を迎え、現在約

3000名の学生により、奈良の地で勉学・課外活動と、充実した学生生活を送っていただいております。また、この3月には農学部において始めての修了式・卒業式を行い、大変嬉しく思った次第です。しかし教職員一同、現状に甘んじること無く更なる飛躍を求め、教育面・施設面と充実させていき、ますます向上していく農学部を目指す所在であります。

秋には恒例の農学部祭が行われます。緑友会の皆様には足をお運びいただき、変化していく農学部を感じていただければ幸いです。

最後に緑友会の皆様の更なるご発展とご健康をお祈りし、今後もご尽力、ご助言を賜りますようお願いいたします。

会長就任に当たり、 ご挨拶申し上げます

緑友会会長 松田 克礼



この度、高谷先生の後任として、会長に任命された松田です。私は、昭和59年に、農学部農学科を卒業しました。

先輩の方々、後輩の方々、どうぞよろしくお願い致します。

さらなるブランド力の向上！

農学部長 重岡 成



花も生い茂り、四季折々の季節感を満喫しながら、学部生院生そして教職員、総勢約3000人が教育・研究に励んでおります。

最近毎日のように、近畿大学は、何かとマスコミを賑わしており、2年連続で受験者総数が、日本1位になったことなどは、ご承知のことと思います。これも2012年12月に、一、10年以内に関同立に追いつき、追い越せ、二、偏差値でははかれない、独自の高い大学になれ、三、世の中に役に立つ大学であれ、という目標が掲げられたこと

緑友会の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より農学部発展のため、多大なご支援とご鞭撻を賜り厚くお礼申し上げます。農学部は、27年前（平成元年）に大学本部（東大阪）から移転し、現在ではキャンパス内の木々、草

農学研究科の近況

大学院農業研究科長 太田 博巳



ます。緑友会から補助して頂いております学位論文の優秀発表者を賞する緑友会賞もすっかり定着し、大学院生たちの大きな努力目標の一つとなっております。

文部科学省が全国の私立大学の中から科学技術の伸展に寄与する研究プロジェクトを選定する「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」には、現在、農学研究科から3つのプロジェクト（「環境調和を志向した革新的植物アグリバイオ技術の統合型研究拠点」「魚類の完全養殖の高度化」

「きのこの子実体形成機構の



Agri 大和館（新築の体育館）

平成26年度 緑友会賞受賞者一覧

博士後期課程

専攻	氏名	テーマ
バイオサイエンス専攻	新家 粧子	Ligand-binding studies on chitinolytic enzymes by nuclear magnetic resonance spectroscopy (核磁気共鳴法を用いたキチン質分解酵素のリガンド結合に関する研究)

博士前期課程

専攻	氏名	テーマ
農業生産科学専攻	本 傳 晃 義	(1R)-(+) -camphorの含有量が異なるラベンダー精油のアロマロジー効果に関する研究
水産学専攻	平 野 千 早	ハダムシの生態的特徴を利用した新しい防除法の開発
応用生命化学専攻	中 谷 有 里	カイコガpH感受性塩素チャネルの機能特性
環境管理学専攻	小 田 優 花	ホルモン剤を用いたタナゴ亜科魚類の人工繁殖
バイオサイエンス専攻	吉 谷 亘 平	大腸菌センサー PhoQ活性化因子SafAの作用機構

緑友会へのご寄付お願い

このたび緑友会は、会報発行をはじめ卒業生名簿の管理、緑友会賞の授与などの緑友会活動のさらなる活動充実の為の原資として卒業生のみならず寄付をお願いする次第です。経済状況が厳しい折に誠に恐縮でございますが、緑友会の現状をご理解頂き、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお寄付金は一口5,000円とさせて頂き、お一人様の上限はございません。お振り込みの際には、**氏名、卒業年度を合わせてお知らせ頂きますよう**お願い申し上げます。（お手数ですが、お振り込み後にお電話またはメールで、ご住所、お名前、卒業年度をお知らせ頂ければ幸いです）

〇振込口座〇
三菱東京UFJ銀行 富雄出張所
普通 3574857
近畿大学農学部 緑友会

〇連絡先〇
近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273 (2030)
E-mail ryokujim@nara.kindai.ac.jp

寄付者芳名一覧 (2014年度ご寄付分)
竹内 孝常 様 (昭和42年度 農芸化学科)
高谷 政広 様 (昭和45年度 農芸化学科)
大澤 雅子 様 (平成 2年度 農芸化学科)

ご協力ありがとうございます。今後も会員相互の親睦を深め母校の発展に寄与して参りたいと考えております。どうかご支援賜りますようお願い申し上げます。（注）公開をご希望されない方については、掲載していません

学科の近況

農業生産科学科

学科長

松田 克礼



号を認定された学生が多数卒業しています。また、奈良県平群町、八木酒造(株)、そして近畿大学農学部産官学が連携し、ヒノヒカリを使用した純米生貯蔵酒「平群」の販売を開始しました。平群町内の酒販店、道の駅などで手に入れることができます。すぐに売れ切れますので、見かけられた時には、是非ご賞味ください。

水産学科

学科長

安藤 正史



当学科では、平成27年3月に園芸植物学研究室の宇都宮直樹先生と農業経営経済学研究室の宇山満先生がご退職されました。4月には、農業経営経済学研究室に増田忠義准教授、園芸植物学研究室に小枝壮太講師が着任され、新体制がスタートしています。本年度も昨年度に続き、(財)全国大学実務教育協会から園芸療法士の資格を認定された学生と近畿大学農学部からアグリビジネスマイスターの称号

当学科では、本年4月に酒井麻衣講師が着任され、新しい研究室である海棲哺乳類学研究室を立ち上げられました。

応用生命学科

学科長

飯田 彰



イルカに代表される海棲哺乳類は従来から高校生・学部生の関心が非常に高い分野であり、今後の受験生獲得のためにも大きな期待が寄せられています。また、水産利用学研究室の伊藤智広先生が講師から准教授に昇格されました。企業との共同研究を発売に行っており、実学志向の本学にとって益々のご活躍が期待されています。今年度はゼンター試験方式による入学者が大幅に増えており、水産学科の位置づけに変化が見られます。今後も教員一丸となって教育研究に努力して参りますので、ご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

食品栄養学科

学科長

米谷 俊



のために、卒業生の皆様のご支援とご協力、叱咤激励を宜しくお願いします。

当学科では、本年4月に応用細胞学研究室の財満先生が、講師から准教授に昇格されました。教育・研究における益々のご活躍が期待されます。本年度は大学院の中間発表会に、基礎ゼミの一環として1年生にも参加してもらいました。これは、研究の大切さを早期に自覚し、大学院進学に興味をもってもらうためです。研究面では、白坂教授を中心とする平成27年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択が注目されています。これにより、マツタケ等の人工栽培に関する研究の大きな進展が期待されます。農学部の良い、質の高い教育・研究

当学科では、第29回管理栄養士国家試験に51名が受験し、全員が合格しました(2年連続100%合格)。管理栄養士養成課程(新卒)の平均合格率は95.4%。また、本年4月1日付で、栄養機能学研究室の竹森久美子講師が准教授に昇格されました。先生方が積極的に研究業績を積み重ねて昇格されると、その研究を背景とした教育レベルも向上し、学生の実力が高まりま

当学科では、今年度から森美穂先生が准教授に昇格されました。学科設立以来実施されてきた、里山学連続講座は今年度中に50回を迎えます。国際交流も今までと同様活発

学科研究室・教員

農業生産科学科

- 育種工学(吉田 元信・種坂 英次)
- 園芸植物学(神崎 真哉・小枝 壮太)
- 昆虫生態制御学(矢野 榮二・香取 郁夫)

- 作物学(飯嶋 盛雄・山根 浩二)
- 植物感染制御工学(豊田 秀吉・松田 克礼・野々村 照雄)
- 植物・人間関係学(林 孝洋・富 研一)
- 農業経営経済学(増田 忠義・大石 卓史)

水産学科

- 漁業生産システム(光永 靖・鳥澤 眞介)
- 水産経済学(多田 稔・有路 昌彦)
- 水産生物学(小林 徹)

- 水産増殖学(太田 博巳・滝井 健二・石橋 泰典)
- 水産利用学(塚正 泰之・安藤 正史・伊藤 智広)
- 水族環境学(江口 充・永田 恵里奈・谷口 亮人)
- 海棲哺乳類学(酒井 麻衣)

応用生命化学科

- 応用細胞生物学(森山 達哉・財満 信宏)
- 応用微生物学(岸本 憲明・倉田 淳志)
- 食品微生物工学(白坂 憲章・福田 泰久)

- 森林生物化学(田中 裕美・板倉 修司)
- 生物環境学(飯田 彰・澤邊 昭義・山下 光明)
- 生物制御化学(松田 一彦・森本 正則・伊原 誠)
- 学科共通(吉岡 佐知子)

食品栄養学科

- 栄養機能学(米谷 俊・竹森 久美子)
- 栄養教育学(川西 正子・明神 千穂)
- 給食経営管理学(富田 圭子・稲村 真弥)

- 公衆栄養学(伊藤 龍生・郡 俊之・蒲 高子)
- 生体機能学(上嶋 繁・安澤 俊紀)
- 食品化学(渡辺 克美・上田 茂登子)
- 臨床栄養学(木戸 慎介・上西 梢)

環境管理学科

- 環境化学(坂上 吉一・森 美穂)
- 環境政策学(池上 甲一・鶴田 格・前潟 光弘)
- 里山生態学(澤島 拓夫・河内 香織)

- 国際開発・環境学(八丁 信正・松野 裕)
- 水圏生態学(細谷 和海・ジン タナンゴナン)
- 生態工学(奥村 博司・阿部 進)
- 保全生態学(北川 忠生・早坂 大亮)

バイオサイエンス学科

- 植物分子遺伝学(川崎 努・山口 公志)
- 植物分子生理学(重岡 成・田茂井 政宏)
- 生命情報工学(田辺 寛之・武田 徹)

- 天然物有機化学(北山 隆)
- 動物発生工学(加藤 容子・谷 哲弥)
- 動物分子遺伝学(佐渡 敬・岡村 大治)
- バイオ分子化学(深溝 慶・大沼 貴之)
- 分子生物学(内海 龍太郎・加藤 明宣)

教養・教育基礎部門

木村 正則・トーマス チャールズ クック・赤羽 仁志・西垣 佐理

太字・新任、――・新研究室



に行われており、東南アジアを中心とした交流大学との連携も強固なものとなっています。一昨年度に7研究室(里山生態学、水圏生態学、保全生態学、環境化学、生態工学、国際開発・環境学、環境政策学)体制に再編されたことに加え、カリキュラムも環境問題をめぐる社会ニーズの変化に対応すべく若干の変更がありました。また、学科先生方の研究成果および環境に関わる地域活動が度々マスコミなどに取り上げられています。環境管理学科のさらなる発展のため、緑友会の皆様のためまめご支援を引き続き賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



バイオサイエンス学科

学科長

加藤 容子



当学科では、植物生態機能学研究室のネルソン・ヘンリーエリック先生が平成27年3月31日をもってご退職になりました。ネルソン先生は、旧国際資源管理学科ならびに当学科におきまして長年にわたりバイオマス原料の探索研

究と教育にご尽力なさいました。一方、この4月にはバイオ分子化学研究室の大沼貴之講師が准教授に昇格されました。また、動物分子遺伝学研究室に米ソク研究所から岡村大治講師が着任されました。8月末には1年間在外研究で渡米されていた加藤明宣講師が無事帰国されました。若手教員の活躍と共に学科教員一同、一層研鑽を積み精励格闘する所存です。今後とも卒業生の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。



新任の挨拶

農業生産科 学科園芸植物学研究室

講師 小枝 壮太

平成27年度4月1日付けで農業生産科園芸植物学研究室の講師として着任致しました小枝壮太と申します。京都大学にて学位を取得し、同大学農学研究科附属農場にて助教として3年間務めた後、近畿大学に参りました。

これまではナス科野菜であるトウガラシやトマトを対象として、栽培試験、分子生物学的解析、および組織培養を用いて研究を行ってきました。特にトウガラシの果実における辛味制御機構の解析や、トウガラシおよびトマトにおけるウイルス病に関する研究を行っています。近年は農業生産において世界的な問題となっているベゴモウイルスに着目し、効率的なウイルス接種法や抵抗・耐病性評価法の開発を進め、新品種育成を目指しています。近畿大学では、これまでの経験・蓄積を活かしながら、研究・講義・実習などを通じて社会の発展に貢献できる学生を育てていければと思います。ご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

水産科 海産哺乳類学研究室
講師 酒井 麻衣

4月に講師として着任いたしました酒井麻衣と申します。海棲哺乳類(特にイルカ)の社会行動や認知について、野生鯨類の水中観察、飼育個体の長期観察、バイオロギング手法などを用いて研究しております。イルカという音声によるコミュニケーションが有名ですが、胸ビレで相手をこすったり、体を接触させるといったふれあい行動も、彼らの社会を維持するのに大切であることがわかってきました。専門は動物行動学・認知科学です。生物にはまだ未知のことがたくさんあり、不思議で満ちあふれていることを学生の皆様や社会に広く発信していきたいと考えております。マグロを始めとした海洋生物の研究が盛んな農学部で研究教育活動させていただけること、大変ありがたく思います。どうかご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

バイオエクス学科 動物分子遺伝学研究室
講師 岡村 大治

平成27年4月1日付けでバイオサイエンス学科動物分子遺伝学研究室の講師に就任しました、岡村 大治と申します。大阪大学で学位を取得し、その後、東北大学加齢医学研究所で7年ほど助教を務めました。一念発起して渡米し、ソーク研究所(サンディエゴ)で3年間ポストドクを経験し、この近畿大学に参りました。

主にマウスをモデルとし、精子や卵子などの生殖細胞の発生生物学を長く専門として参りましたが、近年はES細胞やiPS細胞などの「万能細胞」を研究対象としております。両者に共通するのは「多能性」であり、これを理解することが生涯にわたる私の一貫した研究テーマです。iPS細胞の発見により、人類は「再生医療」という将来の産業の柱の一つを手に入れました。その裾野は想像以上に広く、臨床事業のみならず培養事業・細胞自動培養装置・ゲノム遺伝子解析・創薬利用など多くの関連事業を生み出しております。より高度で創造的な担い手を育成することを目指し、教育・研究に邁進していく決意であります。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、皆様方には在職期間中の23年間公私と

究所における経済調査分析に始まり、京都大学にて有機農業、ハワイ大学にてコヒー産業、イリノイ大学にて大豆生産市場、総合地球環境学研究所(京都市)にてフィリピン・ラグナ湖の流域管理・アグロフォレストリ、インドの生態保全型農業等を対象とする農業・食料生産の社会経済分析・研究に携わって参りました。

平成27年4月1日付けでバイオサイエンス学科動物分子遺伝学研究室の講師に就任しました、岡村 大治と申します。大阪大学で学位を取得し、その後、東北大学加齢医学研究所で7年ほど助教を務めました。一念発起して渡米し、ソーク研究所(サンディエゴ)で3年間ポストドクを経験し、この近畿大学に参りました。

これまでの経験・蓄積を活かしつつ近畿大学農学部発の農業・食料経済研究と教育を進めて参りたいと考えております。緑友会会員皆様のご指導ご支援賜りますようお願い申し上げます。

主にも世話になりましたこともあり、同じ「生物」に関する研究を行うということもあって、農学部には大いに親しみと刺激を感じております。担当する授業は英語科目が中心ですので学生と接する場面は限られておりますが、彼らの英語力の向上に少しでも貢献できるよう、言語学的知識も応用しながら授業を展開していきたいと思っております。私の研究室は緑友会事務局入り口から入って奥にあり、これも何かのご縁と存じます。緑友会の皆様方には今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、皆様方には在職期間中の23年間公私と

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、皆様方には在職期間中の23年間公私と

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様方におかれましてはますますご健勝のことと存じます。また、皆様方には在職期間中の23年間公私と

退任のご挨拶

退任のご挨拶

前農業生産科 准教授

宇山 満

緑友会の皆様におかれましては、お元気で活躍のことと存じます。

私は、平成27年3月をもって近畿大学農学部農業生産科を退職し、4月1日より新たに開設しました龍谷大学農学部の食料農業システム学科に所属しております。近畿大学在職中、農学部の教職員の皆様には一方ならぬご厚情を賜りましたことを、心より感謝いたしております。

平成13年(2001年)に京都工芸繊維大学から近畿大学農学部の国際資源管理学科に移ってから、14年間勤務させていただきましたことになりました。特に国際資源管理学科時代の、北部タイや南部タイでの学生たちとの海外研修旅行が印象に残っています。

現在の職場は、4月に開設されたということから、これまでの経験で始めて学生は1年生しかおりません。授業の負担等は今のところそのため非常に少なくなっていますが、3年生や4年生のゼミ生がいらないということに、やや寂しさを感じているところですが、特に、学生たちとコンパという名前で飲みに行けないということが1番でしょうか。

近畿大学での経験を活かしながら、近畿大学とはまた一味違った新たな農学部を作っていくことに力を尽くしたいと思っております。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

退任のご挨拶

した。平成11年に農学部に着任して以来、研究室は元より農学部の先生方や事務部の皆様にはたいへんお世話になりました。あらためてお礼申し上げます。

最後にになりましたが、緑友会の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

それまで勤務していた研究機関と異なり、自由な発想で小さな問題でも純粋な気持ちで学生達と考え悩みながら研究に取り組むことができたことが何よりも楽しく新鮮でした。思い起こすと、求められて行なった研究より、楽しく自由に行なった研究ほど学会だけでなく業界からの反応も大きかったように感じます。大学の果たす役割はこうしたところにあると実感します。

近畿大学で過ごした生活がその後の私の大学人人生の礎を築いていることを思うと関係者や学生の皆さんに感謝の気持ちで一杯です。母校に戻ってから、近畿大学で育まれた教育研究への思いを忘れてしまっているように感じます。皆様の益々のご発展をお祈り申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶

教養・基礎教育部門
准教授 白石よしえ

農学部にて2011年度所属となり、2015年度の3月を持ちまして農学部から本学所属となりました。農学部での4年間は、様々な意味で人生の中で最も忘れられない日々となりました。中でも横を見れば著名な科学者がそこ、ここにおられるという希有な状況の中、基礎教育で英語を教えております私には、英語を科学的に教えるということはどういうことか、農学部らしいアカデミックな英語授業とはどういうものかを真摯に考え、研究者として成長できる機会をいただきました。本当にありがとうございました。

農学から農業へ
前バイオサイエンス学科教授
ネルソン・ヘンリー

農学部の皆様におかれましては、お元気で活躍のことと存じます。何よりもまずは、温かくご支援・ご指導いただいた皆様に感謝と御礼を申し上げます。二十年間あまりの短いキャリアでしたが、今までの人生の中では、間違いなく一番充実した時間を過ごさせていただきました。喜びに満ちた時間でした。有り難うございました！

また、深くお詫びしたいです。在職中は沢山のミスをお犯して多くの方に多大なご迷惑をおかけしてしまいました。退職した今も申し訳なく思っております。

学生の皆様と一緒に卒業研究と実験に懸命に取り組み、農生態系に関する発見が多数あり、貴重な知見を得られました。学生の皆様と共に過ごした研究生生活が何より楽しかったです。

耕地が国の宝という信念から、退職後に農業をはじめました。ひどく荒れられた耕作放棄地を購入し、残りの生涯を掛けて豊かな農地に変えることにしました。少しでも農学部での教育・研究を通じて頂いた幸せを社会に返したいと思っております。

近畿大学農学部の発展を切に願っております。農学部のエンジンとなっている卒業生と教職員のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

退任のご挨拶

退任のご挨拶
前学部長 宇都宮直樹
前農業生産科 教授

緑友会の皆様には、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

退任のご挨拶



新入生の夢

将来の夢

農業生産科学科

小林 弘樹

があります。中学生の頃は、先生が嫌いでした。いつも偉そうにしている、生徒のことを理解してくれなかったからです。

そして、現在やりたいと思っていることは、農業研究です。

そんな私が先生を目指すきっかけとなったのは、中学の担任との出会いでした。常識や思いやりがなく、自分の好きなことだけ一生懸命張り、周りの目を全く気にしていなかった私は、周りに好かれるような人間ではありませんでした。そんな私を常に気にしてくれて、生徒の立場で物事を考えていたのが、その先生でした。中学生の私が心を開いた唯一の先生でもあります。私はその先生から多くのことを学びました。だから私も、この先生のように人の気持ち理解でき、信頼されるような人間になりたいと思つたのです。そして、友達に勉強を教えたときに、教えることが好きだと感じ、先生になる決心をしました。

海や魚が好きで、魚の勉強をしたいという思いから、ずっと入学したかった近畿大学・水産学科に入学しました。この喜びと、周りの方々の感謝の気持ちを忘れずに、これから4年間頑張っていきたいと思います。

また、自分で管理できる時間が増えた今、勉強だけでなく、今しかできない体験をたくさんできるように、いかに時間を活用するかを学んでいきたいと思っています。

僕の夢

食品栄養学科

上月 和樹

僕が所属している食品栄養学科では多くの人が管理栄養士や食品開発企業への就職を目指していますが、僕は管理栄養士を基盤として在学中に任意で取得できる健康運動実践指導者の資格を活かした職業に就きたいと考えています。



私の夢

環境管理学科

杉浦 悠太

私は子供のころから生き物や自然が好きでした。よく祖母の家に行つては、庭でダンゴムシやバッタ、アリなどを捕まえたり、観察したりして遊んでいました。また、家でカメを飼ったり、カブトムシを育てたりと生き物と関わってきました。

高校で進路を迷っていた時、小さいころから好きだった生き物の勉強をやはり続けたいと思いました。そこで、近畿大学農学部オープンキャンパスに行つて、環境管理学科の研究を見ていただいた時

とても面白そうで、ここで勉強したいと強く思いました。実際に大学に入り講義を受けると、今まで知らなかった絶滅危惧種を保護していくことの大切さを知り、また外来生物の駆除活動についての話を聞くことで、いろいろな生き物への興味がますます湧いてきました。目標ははっきり決まっていませんが、大学の4年間で視野を広げ、食欲に学び、生き物に関わる仕事に就きたいです。そのために、自然豊かなキャンパスで多くの生き物やいろいろな人たちと関わりながら、生き物やそれをとりまく自然環境について学んでいきたいと思っています。

私の夢

バイオサイエンス学科

小竹 未季子

私は、昔から理科が好きで理科の先生になりたいと思っていました。しかし、高校に入つて、覚えることの多さやスピードの速さについていけず、理科が嫌になり学校の先生になることも諦めようとしていました。そんな時に出会ったのは、バレーボール部顧問の先生です。その先生は、違う学年の生物を担当されていましたが、放課後にテスト対策の授業をしてくださったり、わからないところは私が納得するまで何度も説明してくださりました。そのお陰で私は段々生物を好きになり、顧問の先生のような生物の先生になりたいと思うようになりました。

今の自分はまだまだ知識が足りません。バイオサイエンス学科では、様々な分野の講義を受けることができるので、自分の苦手な分野でも進んで受講し、たくさん知識を吸収したいと考えています。また、大学生活では、人間性を豊かにし、精神面を一層成長させることに心掛けるつもりです。そのために、勉強以外でも、サークルや地域の活動、アルバイト、スポーツを通してたくさんの人と関わっていききたいと思っています。このように、大学生活で得た貴重な財産をもとに、将来、生徒の疑問にわかりやすく答えられる先生になることが私の夢です。

夢

水産学科

懸樋 彩子

近畿大学農学部にはいり半

年が経ちました。この間農業についての基礎を少しずつ学んだことで価値観に変化が生じてきました。その一つは農業などの化学物質を散布することへの抵抗感です。これまでの浅い知識では農業に体に有害というイメージが大きく、これらの物質を使うことの有効性、利点に考えが至っていませんでした。こうした固定概念にとらわれないよう自分で考え、答えを出していけるよう在学中に知識を増やし、今後の人生において役に立てていけるよう勉学をすすめていきたいと考えています。

卒業後は海外での留学等の経験をいかし、日本の作物を輸出するような仕事をしていきたいと考えています。そのためにも海外で重要視される付加価値のつけ方、日本の作物がどのようにしたら他国の作物と競争していけるかをしっかりと学び、大学関係・農家の方々からノウハウを吸収し、自分自信の理念を組み立てていこうと思います。こういった行動が将来衰退している日本の一次産業を盛り上げるきっかけの一つを作ることができれば農学部に入学生、これから過ごす時間もより有意義になるのではと信じています。

将来の夢

応用生命化学科

荒井 沙耶

私が農学部に進学しようと決めたのは中学二年生の時でした。

周りの人に比べ、だいぶ早い決断だったと思います。しかし、やりたいことは現在とは違い、林檎をいかにおいし

私には先生になるという夢

く育てるかということでした。中学時代に林檎や作物を育てるほど体力がないということが判明し、それらを育てることに携われるものに力を注ぎたいと考えるようになりました。

また、適切な運動とバランスの良い食事を取ることが健康に大きく貢献しています。過去の自分もそうでしたが、このことを認識していない人

も大勢いるように思います。更に便利な世の中になるにつれて、若年層の運動習慣や生活習慣の悪化が目立っているように感じています。

こうした背景から、僕は将来自分の好きな運動を通して、健康的な生活を送る手段を多くのの人々に伝えていきたいと考えています。



近大アーマリン

アーマリン近大は安心・安全・美味しい魚を提供します

近大の魚と配付の基
近畿大学 水産研究所

大阪店
大阪市北区大深町3-1
グランフロント大阪北館6階
TEL:06-6485-7103
ランチ 11:00~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)

銀座店
東京都中央区銀座6丁目2番先
東京高速道路山下ビル2階
TEL:03-6228-5863
ランチ 11:30~15:00 (L.O. 14:00)
ディナー 17:00~23:00 (L.O. 22:00)
日・夜はL.O. 21:00

※食材が無くなり次第、営業を終了させていただきます。
※不定休(年末年始等)
※大阪店のランチのご予約は受け付けておりません。

【本社】〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町1-5
TEL:0739-42-4116 FAX:0739-42-2600
Mail: info@a-marine.co.jp
URL: http://www.a-marine.co.jp

あなたの企業のお手伝い
photo shop

イナダカメラ

21世紀へ
ニューメディア
プリント

八尾市服部川7丁目153
TEL 0729 (41) 0909 / FAX 0729 (41) 0934
携 帯 09037290909
E-mail t-inada@natural.zaq.jp
代表者 稲田 忠明 (農学科 昭和43年度卒)

城崎マリンワールド



植物防疫所の仕事―空港編―
農学研究科 農産学専攻 平成26年度卒
笹村 太紀

現在、私は横浜植物防疫所の成田支所で働いています。植物防疫所は、植物に有害な病虫害の侵入・蔓延を防止し、日本の農業と緑を守るために輸出入及び国内植物の検査をする機関です。

私の主な業務は、成田空港で旅行者の手荷物の植物検査を行うことです。空港には、世界中から様々な植物が手荷物で持ち込まれます。それが国内に持つて入れられないものか、また検査で持ち込める場合、病虫害が付着していないかなど



の検査を行っています。

当初は見慣れない植物が多く、検査の度に困惑していました。しかし、植物防疫所は研修や講習が充実し、また職場の先輩方も丁寧に教えて下さるので、少しずつ必要な技術や知識が身に付き、検査にも慣れてきました。

植物防疫所では、空港や海港での検査以外にも、日本に未発生の病虫害が侵入した場合のリスク分析や同定技術に関する調査研究、海外の生産地で日本向けの果実を検査する海外検査など様々な業務があり、今後それらに携わる事を楽しみにしています。

美味しい湖魚を食卓に
農学研究科 水産学専攻 平成26年度卒
神村 裕之

私は、平成18年度に近畿大学農学部に入學した後、卒業研究から6年間、琵琶湖でビワマスを追いかけて博士号を取得し、今年度から近畿大学発のベンチャー企業である株式会社自然産業研究所に就職しました。

当社は、学生時代に研究で通いつめた琵琶湖の近くに事務所を置き、農林水産業をはじめとして、自然資源を持続的に利用しようとする民間のシンクタンクです。私は、事業開発

大学院生活を通して学んだこと
農学研究科 応用生命化学専攻 平成26年度卒
内藤 雅夫

私は2009年に大学を卒業し大学院を経て、外資系製薬企業日本イーライリリー株式会社で働いております。在学中は食品微生物工学研究室内の白坂憲章先生の下で食品微生物を用いた機能性強化を学んでおりました。

学部生の頃は大切な仲間と出会い、多くの時間を共有出来た4年間は確かに自分の中に残っていることを確信しています。

大学院では研究の進行から方針まで大半を学生達の自由に任せてくださったのが印象的でした。自由と言えば聞こえは良いですが、今振り返れば自身で考え計画し実行、そして結果を出さなければならぬ責任感のある厳しい環境だったのかなと思います。

現在、学んだマネジメント力を生かしMR（医薬情報担当者）として患者様の治療に貢献するという大きな使命を持つて働いております。

担当エリアの患者様が情報提供を行っている薬によって病から回復し、健康的な生活が送れるようになることは大変な幸せであり、日々喜びを感じております。

部で、新たな産業や雇用を創出し地域経済の活性化を目指して、廃校した小学校のプールを活用し最高に美味しい湖魚を養殖するプロジェクトに取り組んでいます。琵琶湖で研究に明け暮れていた頃から、琵琶湖の水産のために力になりたい、一次生産者である漁業者と一緒に働きたいと思っていました。今でも仕事で学生時代にお世話になった漁業者と密に連絡を取り、漁港で一緒に仕事をさせていただいております。実学を追い求める自然産業研究所は、農学を学んだ私にとって最高の職場です。



人と人を繋ぐ仕事
食品栄養学科 平成23年度卒
上田 真梨子

私は、現在、栄養教諭として三重県の小学校に勤務しています。今年度は、所属校以外に小学校2校と中学校1校を兼務しています。食物アレルギー、肥満、朝食欠食など、子どもたちを取り巻く課題は多岐に渡ります。子どもたちの命に関わる仕事をしているという緊張感のなか、思うようにできず、未熟さを痛感する日もあります。しかし、子どもたちの笑顔、教職員の先生方や調理員さんに支えられ



研究をすることで学んだこと
環境管理学科（平成26年度卒）
近藤 恵子

今年の春、環境管理学科を卒業し、現在は近鉄造園土木株式会社に勤めております。大学生時代は若草山の植生と土壌の関係性を研究しておりました。この頃から、「街にも全ての生き物が過ごしやすい環境を」と思い始め、この職業を選びました。主な仕事内容は、分譲住宅の庭を設計しております。しかし、設計はもちろん樹木の名前や特徴も知らないのでは、お客様との商談の際に自分自身の思いをうまく伝えることが出来ず、苦労することが多いです。この様な時は、知らない樹種を見つけたとサンプリングをし、植栽を選定する際も土壌分析を行うなど大学生時代と同様な方法で1つ1つ知識を積み重ねながら、日々勉強に取り組んでいます。

研究はすぐに結果がでないので不安や焦ることが多いですが、諦めずに続けることにより成果は出ることを先生方や友人から教わりました。研究を通して身についた技術力や精神力をより磨き、50年後も過ごしやすい街を造りたいです。

ジェルネイルの研究
農学研究科 バイオエッセンス専攻 平成26年度卒
高橋 一生

私は株式会社サクラクレパスに勤めています。サクラクレパスと言えばクレパスでお馴染みの会社です。その他にもクービーなどの学童向け描画材を中心に、ゲルインキボールペンやマイネームなどの筆記具も製造販売しています。その中で私はジェルネイルの研究・開発を行っております。ジェルネイルとはジェル状の光硬化性樹脂を爪に塗り、UVライトで硬化させるネイルのことです。



食品支部は、食品関連産業に従事する近畿大学校友によって組織された『母校近畿大学の発展、会員相互の親睦と学びあい、ビジネスチャンスの繋ぎ』を目的とした校友会専門職支部です。

食品メーカーだけでなく、広く全国の農水産業・飲食・小売・流通・機械・設備・梱包資材等、食品産業全般から参加を募っております。

総会や研修旅行を通じて信頼関係を高めつつ、多様なビジネスチャンスへ繋げていきましょう！

校友の皆様のご参加を心よりお待ちしております！



近畿大学校友会
食品支部
会員募集中！

支部概要

設立 平成26年6月7日
支部長 李忠儒
年会費 5,000円
連絡先 支部長 李忠儒
株式会社 日本東泉
大阪市住之江区中加賀屋2-10-15
TEL 06-6682-2627

在学生だより

私の学生生活

農業生産科学科
昆虫生態学研究室四回生
中市後尚矢

私の研究室では、昆虫を農業的に利用するために昆虫の生態を研究しています。そこで私は、害虫が加害した植物のにおいに対する天敵の反応と、天敵が加害した植物のにおいに対する害虫の反応を調べています。害虫をその天敵である昆虫に攻撃させ防除することを生物的防除と言い、この研究で害虫や天敵の生態をより詳しく知ること、昆虫のより効率的な農業利用を目指しています。

私がこの研究を選んだ理由は、この研究が今年度から始まる新規の研究だったからです。この研究を始める際、方法については過去に似たような方法で行った研究の論文を参考にしますが、実際にやってみると中々うまくいかなくて非常に苦労しました。ですが私は、ここで苦労したことは次にこの研究をしていく後輩たちに確実につながっていくと思います。そして、自分が成長するターニングポイントの一つになると思っています。

居心地のいい場所

応用生命化学科
生物環境学研究室四回生
西園 縁

大学生活を振り返ってみると、まずサークル活動のことが思い浮かびます。中学からずっとバスケットボールをしていたので大学でもバスケットボールサークルに入りました。サークル活動の中で同期だけでなく先輩や後輩と仲を深めていくことができた。思いつくことが出来た。先輩が引退してから副会長としてサークルを引っ張っていく役割につき色々なイベントを企画、実行してきました。大学のサークルは高校とは違い何から何まで自分たちで準備などしないといけない、初めてのことで沢山の失敗などがありました。他のメンバーの人たちが手伝ってくれたり、助けてくれたりしてくれてとても最高の仲間に出会えたなと感じました。今はもう引退して卒論のために実験の毎日ですが、サークルという存在は実験に行き詰った時に顔をだしてバ

出会いに感謝

水産学科
水産利用学研究室四回生
御手洗玲奈

近畿大学に入学してから瞬く間に時が過ぎ、早いもので卒業まであと半年ほどとなりました。振り返ってみると、私の学生生活は、とにかく「人」に恵まれていたと感じます。クラブなどを通して、自分の未熟さを痛感しながら



も多くの人と関わる楽しさや辛さを共に味わうことで、かけがえない友人を得ることができました。また就職活動では「一緒に働きたい」と思える人達に出会い、船舶関連メーカーへの入社を決めました。私にとってこの4年間は多くの素晴らしい経験が出来た何事にも代えがたい宝物のような時間です。支えてくれた家族や友人、先生方への心からの感謝を胸に、来年からは社会人として新たな気持ちで頑張ります。

『食』からはじまった私の道

食品栄養科学科
給食経営管理学研究室四回生
今井 恵

私が本学科を選んだきっかけは、祖父が生活習慣病になったことでした。入学後は、生活習慣病をはじめ様々な知識を得ることができ、祖父がきっかけではありましたが、本学科に入学して本当に良かったと感じています。しかし「いくら正しい食事療法の知識を獲得しても食べなければ意味がない。毎日摂取する食事は、おいしく感じることでQOL向上につながるの

だ」と考えるようになり、卒論のテーマを「視覚障がい者を対象とした食卓の色彩研究」としました。研究室では保育園児を対象とした食育にも携わらせていただき、幼少期からの食の大切さを痛感しました。こういった経験をを通して、私はおいしさを追及する食品業界で仕事がしたいと思うようになり、菓子の老舗株式会社あみだ池大黒にご縁を頂く事ができました。大学で学んだ知識や経験を最大限に活かし、食の大切さや面白さを多くのお客様に伝え、提供していければと考えています。

農業土木の視点から

環境管理科学科
国際開発・環境学研究室四回生
丸屋加奈子

3年目の大学生活が始まったころ、自分は将来何をしたいのか、ということを考えるようになりました。様々な企業の説明会が開催されていたのですが、興味を持てるものもなく同じ研究室の先輩や先生方に相談をしたところ、公務員という選択肢もあることを知りました。

それから公務員について調べようになり、自分が特に農家の方と関わり地域を活性化させたいという思いが強いことに気づきました。また私が配属された国際開発研究室では今まで先輩方が勉強に使っていた参考書や資料も豊富にあったことから、友人と一緒に諦めることなく努力し続けることができました。結果として奈良県庁の総合土木職に合格し、春から社会人として様々なことに挑戦することになります。近畿大学農学部で学んだ知識や貴重な経験はきっと役に立つときが来ると思います。残りの学生生活も悔いのないように過ごしたいと思っています。

大学生活を振り返ってみて

バイオサイエンス学科
生命情報工学研究室四回生
平野 直樹

私は幼い頃から興味を抱いていたいろいろな生物についての掘り下げた勉強がしたいと思いこの近畿大学農学部に入學しましたが、思い返してみると実に様々な貴重な勉強や体験ができたためか、これまでの学生生活がとても短く感じられています。入学当初こそは新しい環境の中で何もわからず、それに慣れることに四苦八苦しましたが、それでも興味のある授業を通して新しい知識を得ることはとても楽しいことでした。進級するにつれて授業の内容もより専門化、高度化して難しく感じられるようになり、この先についていけるか非常に不安になった時期もありましたが、その分、課題に対するやりがいとそれをやり終えた後の充実感も非常に大きくなったと思います。また定期試験や実験レポートの作成などでも何かと大変な思いをしましたが、今ではそれらを通して得られた経験や自信が今後の自分にとっての大きな心の糧になるのだと確信しています。このような充実した大学生活を送ることができたのも何事につ



いのちをつなぐ企業 株式会社アクアテイメント



aquatainment
06-6955-9681
info@aquatainment.jp
代表 松前(西林) 水産学科2005年卒業



け至らない自分を陰に陽に支えてくれた家族、友人、そして本学教職員の方々のおかげだと感謝の気持ちでいっぱいです。4年生になってからは就職活動に本格的に取り組むことになりました。自分の将来に向けていろいろ夢や希望を抱いてはいるものの実現の可能性については現実はかなり厳しいようです。それでも途中で妥協したり諦めたりはせず、自分の中でこれまで培ったものを遺憾なくアピールしていくことで今までで一番ハードなこの試験を見事乗り切ろうと考えています。学生生活も残りわずかとなりましたが、これから卒業までの期間を悔いの残らないよう一杯頑張っていくつもりです。そして卒業後はこの4年間で身につけたことを最大限に活かし、社会に大いに貢献できる人間になりたいと思っています。

原稿募集

会員の皆様から原稿を募集します。題は自由です。緑友会事務局又は研究室の先生宛に御送付下さい。

緑友会名簿訂正(変更)届

氏名	卒業学科	年度
所属研究室		
現住所(〒)		
住所(〒)		
会社名	住所	
勤務先	(〒)	()

住所等間違っていた、あるいは変更がある場合、この用紙を緑友会事務局までお送りください。お電話、メールでお知らせいただいても結構です。
連絡先：〒631-8505 奈良市中町3327-204 近畿大学農学部 緑友会事務局
電話 0742-43-7273(内線2030) メールアドレス ryokujim@nara.kindai.ac.jp

大学院生だより

私の夢と大学院

博士後期課程
昆虫生態制御学研究室

東田 景太

私は物心ついた頃から昆虫が好きで、幼稚園や小学校に通っていた時点で将来の夢は虫博士でした。そして、中学を経て高校に通う頃には虫博士という抽象的な夢はより具体性を帯びるようになり、かねてから興味を持っていた昆虫の農業利用について研究を行える近畿大学農学部への進学を大学院まで通うことを前提として決めました。現在、所属する昆虫生態制御学研究室では学部生時代から農業害虫のアブラムシ類を捕食する

天敵昆虫のシヨクガタマバエというハエの農業利用について研究を行っています。特に、大学院に進学してからは人工的に合成したにおい物質を使って天敵昆虫の行動を制御するというやや高度な内容の研究に取り組むようになりました。この研究を行う中では外部の企業や研究機関と共同で研究を進めていくことが多く、知識や技術以外にもコミュニケーション能力をはじめとして多くのことが身に付いてきたように感じています。これからも私の愛する昆虫たち共々、社会の役に立つ存在になれるよう日々精進していきたいです。

大学院に進学して

水産学専攻博士前期課程
水産生物学研究室

日下 貴裕

私は、今年大学院に進学しました。私の研究はガンギエイの遺伝的集団構造についてです。ガンギエイは日本各地に分布するエイで練製品や乾製品の原料などに利用されていますが、漁獲量は減少傾向にあります。そこで、私は資源管理を行う上で重要な情報である本種の地域集団間における遺伝的な違いについて分析しています。

私は昨年度からこの研究を行っていましたが、昨年度までは先生や院生の方に頼ってばかりだと思っています。しかし、本年度からは誰かに任せられるのではなく自分の研究という意識を強く持ち、主体的に研究を行っています。また、同じ研究室の学生の指導などにも積極的に関わっています。これらの経験から、いろいろなことへの関心が高まり、今まで以上に広い視野を持つことができるようになったと思います。これからも様々な事に自ら率先して取り組み、大学院生活を有意義なものにできるように日々頑張っていきたいと思っています。

私の研究生活

応用生命科学専攻博士前期課程
応用微生物学研究室

夏原 千怜

もともと化学が好きで、生物にほとんど興味のなかった私は、その時々でベストな進路選択をした結果、何の因果か、今は大学院で微生物の研究をしています。研究で「この結果にはどんな意味があるんだろう?」を考え、次の計画を立てることは、日々の楽しみになっています。

私のテーマは、微生物に有用な物質を作らせ、生産の仕組みを明らかにすることです。実際に研究を始めてみると、このテーマに夢中になりました。研究で使用している菌は、体内に油を多く蓄積する「油糧微生物」の一種で、体重の50%以上の油を貯める「メタボ」な菌です。「油糧微生物」には、燃料への応用が期待されている菌もあり、思わぬところで他の分野と繋がっていて、面白いです。この菌の油は、エネルギー問題は解決しませんが、「メタボリックシンドローム」に効果があるかもしれないかもしれません。私のこれらの研究成果が、皆さんの身近な所に届くことを夢見ています。

大学院生生活一年目

応用生命科学専攻修士前期課程
食品機能学専攻

藤原 隆史

入学前、私は大学院に進学するなどとは露ほども思っておりませんでした。しかしながら、就職活動中の大学四年生の時に、研究を行っていたうちに、研究の奥深さや能動的な勉強に強く惹かれ、大学院に進学することを決めました。

大学院生活は学生の時とは違い、研究を進めたり、論文を読んだりするのも、全て自分のペースで行えるため、一つ一つの自分の行動に責任を持ちながら過ごすことが必要であると短い期間ながらも感じていました。また、研究は四年生の時に行っていた研究テーマである『母体高血糖が及ぼす胎児の神経幹細胞分化への影響』について引き続き研究しているのですが、この研究分野はほとんど研究されていないため、参考にする論文がなく、失敗することや壁にぶつかることが多いです。

大学院に進学して

バイオサイエンス専攻博士前期課程
植物分子遺伝学研究室

白川 友美

時に初めてこのテーマのことを知り、興味を持ったことで、4回生から生態毒性研究に足を踏み入れました。この研究を進めていくなかで、真理を探究することに楽しみを覚え、充実した毎日を過ごすことができました。そこで、この研究をどこまで進めることができるか自分の可能性に挑戦するために、大学院へ進学しました。近大農学部の学生は、他大学にはない「力強さ」があります。私が生態毒性の分野を引っ張るという強い信念の下、これからも研究に打ち込むことで、後輩たちの手本となる技術者に成長していきたいです。

指導教官の講義で「植物免疫」という言葉を耳にし、初めて聞く言葉に感銘を受けたことは今でも忘れません。講義の内容だけでは足りず、「植物免疫」について、もっと知りたいと現在の研究室へ入りました。研究室では、様々な実験解析方法や論理的な考え方など、初めて経験することばかりでした。実験の結果が出ないことに對する不甲斐なさや劣等感を感じ挫折しかけた時もありました。しかし、頑張りや結果に反映された時の達成感や言葉では表せないほどの喜びでした。

また、その喜びを共有してくれる同期の友人や先生方にも恵まれ、ここまで頑張ってきたことが、研究室では、実験の技術だけでなく、学会やゼミを通して、人前で話す力や計画を立てる力も身に付きました。教授、助教、研究員の方々、上回生の方々の指導や励ましには、感謝の気持ちでいっぱいです。残り少ない学生生活を充実したものとし、今後の自分の人生に繋がっていきたくと思っています。

楽しく挑戦していくことのできる研究生活

環境管理工学専攻博士前期課程
生態系管理学研究室

小橋 興次

大学院では農業が水田生物多様性に及ぼす影響について研究を進めています。我々が使用する農薬の安全性は、水域環境を代表する3種類の生物に対する毒性を根拠として評価されています。しかし、生態系に対する影響を評価する試験方法は確立されておらず、今後さらに発展が期待できる分野です。3回生の講義



イネ研究の本場で

農業生産科学科 作物学研究室
講師 山根 浩二

平成27年4月15日から5ヶ月間の予定で、フィリピン国にある国際イネ研究所にて在外研究を行っています。研究所は、マニラから南東65kmのロスバニョスという町にあり、マニラとは違ってのんびりとした空気が流れています。国際イネ研究所は、1960年代に半矮性遺伝子を持つ高

収量性品種が開発され、緑の革命をもたらす元になった研究が行われた場所です。現在もイネ研究の中心的な役割を担っています。そのような歴史ある研究所において、世界各地から集まったイネ研究者達と研究ができることは大きな喜びであります。

このような機会を与えていただいた大学、および関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



国際イネ研究所本部とその前面に広がる田んぼ

